２０２０年度　　早稲田大学大学院文学研究科　　入学試験問題
【博士後期課程】　　**専門科目** ドイツ語ドイツ文学コース　　※解答は別紙（横　　書）

Ⅰ．以下のドイツ文を日本語に訳しなさい。

※この問題は、著作権の関係により掲載ができません。

Ⅱ．次の日本文をドイツ語に訳しなさい。

ひとは意味にこだわりつつ生きる。そのことで他の生き物にはない文化というものを生みだしてきた。けれども，意味の組織を編むというのは，じつは意味になりえた別の何かを隠すというかたちでしかなされない。意味というフィルターでスクリーニングするのだから，網に引っかからないものは存在しないことになるという意味でだけではない。意味を編むということは，編まれた意味の秩序にとってあっては困るような欲望を「無意識」へと抑え込んでおくということでもある。だから，夢がしばしばそうであるように，本人にとって重大な意味をもつ「あらぬ」欲望を隠すために，どうでもいいようなことを前面に出す。ひとにとってほんとうにのっぴきならない欲望は，ときとして自分がしたいと思っていることがらの脇か背後にあるものなのである。＜わたし＞をほんとうに編んでいるものをわたしたちはまだ知らない。

受験番号	
氏名	

この欄以外に受験番号氏名を書かないこと。

専門科目　ドイツ語ドイツ文学コース

総　点

―――ここから記入すること―――

Ⅰ.

（裏へ続く）

（次項へ続く）

―――これより先の余白には絶対に記入しないこと―――

Ⅱ.

（裏へ続く）

———これより先の余白には絶対に記入しないこと———